紙

設 計 課 題 「景勝地に建つ土間スペースのある週末住宅(木造2階建て)」

1. 設計条件

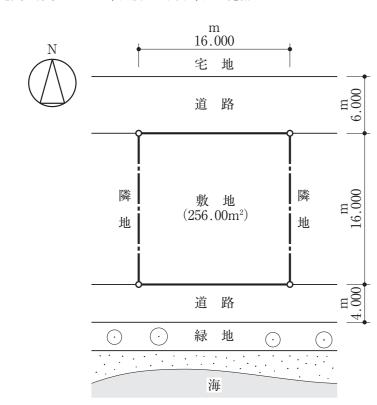
ある地方都市の海沿いの景勝地において、家族やその友人らが趣味のサーフィンを通じ て豊かな自然の中で集うことができる、通り土間のある週末住宅を計画する。

計画に当たっては、次の①~⑤に特に留意する。

- ①通り土間は、趣味であるサーフィンの準備、着替え、道具の保管等に使用するととも に、和室を隣接させ、休憩を取るスペースとしても利用できるようにする。
- ②通り土間は、南北をつなぐ通路空間として北側道路からアプローチできるようにする とともに、屋外テラスを介して南側道路からも直接アプローチできるようにする。 ③ゲストルームは、家族の動線と分離して計画する。
- ④1階部分の主要な居室(居間・食事室・台所、和室、ゲストルーム)の床高は、地盤面 から500mm以上とする。
- ⑤建築物の耐震性を確保する。

(1) 敷 地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、景観保全のため、建ペい 率の限度は50%、容積率の限度は100%とする。
- ウ. 地形は平たんで、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- エ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。



敷地図(縮尺:1/400)

(2) 構造、階数及び建築物の高さ ア. 木造2階建とする。

イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。

(3) 延べ面積 必ず「160㎡以上、200㎡以下」とする。

(床面積については、ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、駐車スペース等は算入しな いものとする。)

(4) 家族構成

夫婦(40歳代)、子ども1人(男子小学生)

下表のすべての窓は、必ず指定された設置階に計画する。

| 設置階 室 名 特 記 事 項 床 面積 1 通り土間 ア. 玄関を兼ねるものとする。 イ. テーブル(椅子3席)を1卓設ける。 ウ. サーフボード置き場(たて置き:800mm× 2,000mm)を設ける。 工. 下足入れを設ける。 シャワー室 便 所 (1) 洗面脱衣室(1) ・洋室とし、ベッド(計2台)、収納を設ける。 うに計画する。 イ. 通り土間と床高を合わせる。 適宜 1 工間用倉庫 ア. サーフィンで使用する道具等を保管する。 イ. 通り土間から直接行き来できるようにする。 イ. 押入を設ける。 (押入を除く) 日間 食 事 室 白 所 (中) ア. 1室または2室にまとめてもよい。 イ. 食事室には、テーブル及び椅子(計4席以上)を設ける。 ・を設ける。 ウ. PCコーナーを設置する。 イ. 主に家族が利用する。 イ. 主に家族が利用する。 イ. 主に家族が利用する。 イ. 主に家族が利用する。 イ. 主に家族が利用する。 イ. 本切と設ける。 ・主に家族が利用する。 ・主に家族が利用する。 イ. 机、椅子、本棚を設ける。 適宜 2階 書 斎 ア. 洋室とし、ベッド(計2台)、収納を設ける。 ・ 注室とし、ベッド(計2台)、ウォークインクロセット(4 間以上)を設ける。 適宜 2階 書 斎 ア. 洋室とし、大婦寝室から利用する。 イ. 机、椅子、本棚を設ける。 4 ㎡以上 適宜 2階 所 ・コーナーとしてもよい。 適宜 | 通り土間 ア. 玄関を兼ねるものとする。 イ. テーブル(椅子3席)を1卓設ける。 ウ. サーフボード置き場(たて置き:800mm×2,000mm)を設ける。 エ. 下足入れを設ける。 エ. 下足入れを設ける。 グストルーム ・洋室とし、ベッド(計2台)、収納を設ける。 ク. 海から戻り、体が濡れた状態で利用できるように計画する。 イ. 通り土間と床高を合わせる。 土間用倉庫 ア. サーフィンで使用する道具等を保管する。イ. 通り土間から利用できるようにする。 イ. 通り土間から直接行き来できるようにする。 イ. 押入を設ける。 | 下衣(| うすべての至は、必ず指定された設直階に計画する。 | | |
|---|--|--------|--|------|-----|
| イ. テーブル(椅子3席)を1卓設ける。ウ. サーフボード置き場(たて置き:800mm×2,000mm)を設ける。エ. 下足入れを設ける。エ. 下足入れを設ける。シャワー室 ア. 海から戻り、体が濡れた状態で利用できるように計画する。うに計画する。イ. 通り土間と床高を合わせる。土間用倉庫 ア. サーフィンで使用する道具等を保管する。イ. 通り土間から利用できるようにする。イ. 通り土間から利用できるようにする。イ. 通り土間から利用できるようにする。イ. 押入を設ける。 | イ. テーブル(椅子3席)を1卓設ける。 ウ. サーフボード置き場(たて置き:800mm×2,000mm)を設ける。 ガストルーム・洋室とし、ベッド(計2台)、収納を設ける。 ・洋室とし、ベッド(計2台)、収納を設ける。 シャワー室 海から戻り、体が濡れた状態で利用できるように計画する。 使所(1) 洗面脱衣室(1) 土間用倉庫 ア. サーフィンで使用する道具等を保管する。 イ. 通り土間から利用できるようにする。 イ. 通り土間から直接行き来できるようにする。 イ. 押入を設ける。 (押入を設ける。 居間 で. 1室または2室にまとめてもよい。 食事室 イ. 食事室には、テーブル及び椅子(計4席以上)を設ける。 ウ. P C コーナーを設置する。 ウ. P C コーナーを設置する。 使所(2) ア. 広さは、心々1,365mm×1,820mm以上とする。 たこ家族が利用する。 ・主に家族が利用する。 | 設置階 | 室 名 特 記 事 項 | 床面 | 面 積 |
| シャワー室 便 所 (1) ア. 海から戻り、体が濡れた状態で利用できるように対象。 (株面脱衣室(1)) イ. 通り土間と床高を合わせる。 土間用倉庫 ア. サーフィンで使用する道具等を保管する。イ. 通り土間から利用できるようにする。イ. 通り土間から直接行き来できるようにする。イ. 押入を設ける。 6畳以上(押入を除く) 居 間 食 事 室 台 所 (2) ア. 1室または2室にまとめてもよい。イ. 食事室には、テーブル及び椅子(計4席以上)を設ける。ウ. P C コーナーを設置する。イ. 主に家族が利用する。イ. 主に家族が利用する。イ. 主に家族が利用する。イ. 主に家族が利用する。イ. 主に家族が利用する。ク. 学室とし、ベッド(1台)、収納を設ける。ク. デ室とし、ベッド(1台)、収納を設ける。ク. デ室とし、ベッド(計2台)、ウォークインクロセット(4㎡以上)を設ける。ク. ボット(4㎡以上)を設ける。ク. ボット(4㎡以上)を設ける。 カース ボット(4㎡以上)を設ける。ク. ボット(4㎡以上)を設ける。 カース ボット(4㎡以上)を設ける。ク. ボット(4㎡以上)を設ける。 カース ボット(4㎡以上)を設ける。ク. ボット(4㎡以上)を記述される。ク. ボット(4㎡以上)を記述される。ク. ボット(4㎡以上)を記述される。ク. ボット(4㎡以上)を | シャワー室 ア. 海から戻り、体が濡れた状態で利用できるよりに計画する。 (種 所 (1) 洗面脱衣室(1) 土間用倉庫 ア. サーフィンで使用する道具等を保管する。 イ. 通り土間から利用できるようにする。 イ. 通り土間から直接行き来できるようにする。 イ. 押入を設ける。 ア. 1室または2室にまとめてもよい。 イ. 食事室には、テーブル及び椅子(計4席以上)を設ける。 ウ. P C コーナーを設置する。 便 所 (2) ア. 広さは、心々1,365mm×1,820mm以上とする。 洗面脱衣室(2) ・主に家族が利用する。 浴室 納 | | イ. テーブル(椅子3席)を1卓設ける。 ウ. サーフボード置き場(たて置き:800mm× 2,000mm)を設ける。 エ. 下足入れを設ける。 | | |
| イ・押入を設ける。 | イ. 押入を設ける。 (押入を配ける。 居 間 食 事 室 台 所 ウ. PCコーナーを設置する。 イ. 食事室には、テーブル及び椅子(計 4 席以上)を設ける。 ウ ア 広さは、心々1,365mm×1,820mm以上とする。イ. 主に家族が利用する。 適 全 所 定 できた。 洗面脱衣室(2) 浴 室 納 戸 ・主に家族が利用する。 | | シャワー室 便所(1)ア. 海から戻り、体が濡れた状態で利用できるように計画する。 イ. 通り土間と床高を合わせる。土間用倉庫 イ. 通り土間から利用できるようにする。 | | |
| 居 間食事室 ア. 1室または2室にまとめてもよい。 イ. 食事室には、テーブル及び椅子(計4席以上)を設ける。 ウ. PCコーナーを設置する。 便所(2) ア. 広さは、心々1,365mm×1,820mm以上とする。 イ. 主に家族が利用する。 洗面脱衣室(2) 浴室 納 戸 適宜 子ども室 ・洋室とし、ベッド(1台)、収納を設ける。 夫婦寝室 ・洋室とし、ベッド(計2台)、ウォークインクロゼット(4㎡以上)を設ける。 適宜 本棚を設ける。 本棚を設ける。 4㎡以上 企業をし、大婦寝室から利用する。イ・机、椅子、本棚を設ける。 4㎡以上 度所(3) 適宜 | 居 間 ア. 1室または2室にまとめてもよい。 食事室 イ. 食事室には、テーブル及び椅子(計4席以上)を設ける。 台 所 ウ. P C コーナーを設置する。 便所(2) ア. 広さは、心々1,365mm×1,820mm以上とする。 適 洗面脱衣室(2) 冷 主に家族が利用する。 浴室 納 戸 | 階 | | l | |
| 夫婦寝室・洋室とし、ベッド(計2台)、ウォークインクロゼット(4㎡以上)を設ける。 適宜 書 斎ア.洋室とし、夫婦寝室から利用する。イ. 机、椅子、本棚を設ける。 4㎡以上 | | | 居 間 ア. 1室または2室にまとめてもよい。 食事室 イ. 食事室には、テーブル及び椅子(計4席以上)を設ける。 台 所 (2) 便 所 (2) 洗面脱衣室(2) 冷 室 納 戸 | | |
| イ. 机、椅子、本棚を設ける。 便 所 (3) 適 宜 | 夫 婦 寝 室 ・洋室とし、ベッド(計2台)、ウォークインクロ 適 ´ゼット(4㎡以上)を設ける。 | | 夫 婦 寝 室 ・洋室とし、ベッド(計2台)、ウォークインクロ | 適 | 宜 |
| 適 宜 | 2 階 | 2 階 | | 4 m² | 以上 |
| | in it is a second of the secon | | | 適 | 宜 |

(6) 屋外施設等

屋外に下表のものを計画する。

| 屋外 テ ラ ス ア. 建築物に隣接させ、通り土間及び和室から直接行き来できるよっにする。 | | |
|--|--------|-----------------------------------|
| イ. 15㎡以上とし、まとまったスペース(少なくとも、直径2m以の円が1つ入るスペース)とする。 ウ. バーベキュー用の流し台を設置する。 | 屋外テラス | ア. 建築物に隣接させ、通り土間及び和室から直接行き来できるよう |
| の円が1つ入るスペース)とする。 ウ. バーベキュー用の流し台を設置する。 | | 1-7-30 |
| ウ. バーベキュー用の流し台を設置する。 | | イ. 15㎡以上とし、まとまったスペース(少なくとも、直径2m以」 |
| | | |
| 駐車スペース・ゲスト用も含め、計2台分の駐車スペースを設ける。 | | ウ. バーベキュー用の流し台を設置する。 |
| | 駐車スペース | ・ゲスト用も含め、計2台分の駐車スペースを設ける。 |

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する(寸法線は、枠外にはみだして 記入してもよい)。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、4.55mm(部分詳細図(断面) にあっては、10mm)である。

| 要 求 図 書 ()内は縮尺 | 特 記 事 項 |
|-----------------|--|
| 1) 1 階平面図 | ア. 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを記入する。 |
| 兼 | ・建築物の主要な寸法 |
| 配置図(1/100) | ・室名等 |
| (1/100) | ・「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」には△印を付ける。 (注)「耐力度」には 数本い策な記れる構作を存める際ない。 > (NT |
| (2) 2 階平面図 | (注)「耐力壁」とは、筋かい等を設けた構造上有効な壁をいう(以下同じ)。 |
| (1 /100) | ・断面図の切断位置及び方向 |
| | イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 |
| | ・敷地境界線と建築物との距離 |
| | ・ 道路から建築物へのアプローチ、駐車スペース、門、塀、植栽等 |
| | ・道路から敷地及び建築物への出入口には、▲印を付ける。 |
| | ・屋外テラスには、直径2m以上の円(破線にて明記する。) |
| | ・部分詳細図(断面)の切断位置及び方向 |
| | ・各要求室(居間・食事室・台所、ゲストルーム)の床高、通り土間、 玄関ポーチ及び屋外テラスの地盤面からの高さ |
| | ・通り土間…下足入れ、テーブル、椅子、サーフボード置き場(破 |
| | 線で明記する。) |
| | ・居間・食事室・台所…テーブル、椅子、台所設備機器(流し台・ |
| | 調理台・コンロ台、冷蔵庫等) ・ゲストルーム…ベッド |
| | ・ 便所 (1)…洋式便器 |
| | ・便所(2)…洋式便器、手洗い器 |
| | ・洗面脱衣室(1)(2)…洗面台、洗濯機 |
| | ・浴室…浴槽 |
| | ウ. 2階平面図には、次のものを記入する。 |
| | ・1階の屋根伏図(平家部分がある場合) |
| | ・子ども室…ベッド ・夫婦寝室…ベッド |
| | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| | · 便所(3)…洋式便器 |
| | ・洗面所…洗面台 |
| (3) 2 階床伏図 | ア. 主要部材(通し柱、1階及び2階の管柱、胴差、2階床梁、桁、 |
| 兼 | 小屋梁、火打梁、棟木、母屋、小屋東など必要なもの)については |
| 1階小屋伏図 | 凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋束を除く。) |
| (1/100) | を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太 材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。な |
| | お、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 |
| | イ. 2階床伏図において、火打梁の代わりに、構造用面材による床組 |
| | とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の |
| | 厚さ、釘の種類・打付け間隔を明記する。 ウ. その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 |
| | 工、建築物の主要な寸法を記入する。 |
| (4)立 面 図 | ア、北側立面図とする。 |
| (1/100) | イ. 建築物の最高の高さを記入する。 |
| (5)断 面 図 | ア. 切断位置は、通り土間及び1階・2階それぞれの開口部を含む部 |
| (1/100) | 分とする。 イ 建築物の外形 床面及び玉出面の形状がわかる程度のものとし |
| | イ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、 構造部材(梁、基礎等)については、記入しなくてよい。 |
| | ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の |
| | 内法寸法及び主要な室名等を記入する。 |
| (6)部分詳細図(断面) | ア. 切断位置は、土間及び居室の内部建具を含む部分とする。 |
| (1/20) | イ. 作図の範囲は、土間及び居室の床の部分(居室の床仕上げ面から |
| | 高さ500mm以上)とし、基礎立ち上がりの心から両側1,000mm以上 とする。 |
| | ウ. 主要部材の名称・断面寸法等を記入する。 |
| | オ. 必要と思われる部分の断熱・防湿措置を記入する。 |
| | カ、室名及び主要な部位の仕上材料名を記入する。 |
| (7)面 積 表 | ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 |
| | イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。 |
| (8)仕 上 表 | ア. 主要な屋根の勾配を記入する。 |
| -/ pr 1X | イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記 |
| | 入する。 |
| | ウ. 内部(通り土間)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び |
| | 下地材料名を記入する。 |
| | ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述 |
| (9)計画の要点等 | u |
| 9/計画の安点寺 | する。 ①道路から建築物へのアプローチについて、工夫した点 |
| 9 計画の安凡寺 | , - 3 |

